

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年4月1日

事業所名 わんすてっぷ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	0	遊ぶエリアと課題スペースを分けている	課題、食事の際、人数が増えると距離が近くなることがあるので座席、配置を工夫する。
	2	職員の配置数は適切である	9	0	送迎では必ず運転、添乗の2名配置している。	配置人数は適切である。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	9	0	階段には手摺が設置してある。	マットと床の境目に小さな段差があるので注意が必要。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	3	日々話し合いをしている。	広くは参画できていない部分もあるため、参画していく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	0	活用をしている。	可能な範囲内で業務改善に務めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	0	公開をしている。	継続を必ず行う。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	9	書面ではなく、口頭での評価をいただいている。	書面に残せるようにする。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	0	その都度、必要な研修を行っている。	現場からも受けたい研修の意見が募り、研修を行う
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9	0	児童発達支援管理責任者が行っている。	継続し、質の高いものを残すことを目指していく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	0	使用している。	継続していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	0	発案を担当者が行い、細部の計画はチームで行っている。	質の高い活動プログラムを立案していく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	0	来所される児童に合わせている。	児童の特性、発達段階を正しく理解する。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9	0	児童が見通しが立てやすいように設定している。	児童の特性、発達段階を正しく理解する。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9	0	各児童に合わせて計画を作成している。	質の高い、合ったものを作成していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	0	ミーティングを行い、共有、確認をしている。	ミーティングを行い、共有、確認をしていく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	0	送迎後に時間を設けたり、翌日にミーティングを必ず行っている。	送迎後に時間を設けたり、翌日にミーティングを必ず行っていく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	支援計画を立てるための記録をとっている。	支援計画を立てるための記録をとっていく。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9	0	半年に一度モニタリングを行い、必要に応じて見直しを行っている。	半年に一度モニタリングを行い、必要に応じて見直しを行っていく。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	9	0	来所される児童に合わせて支援を行っている。	来所される児童に合わせて支援を行っていく。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	0	参画している。	参画していく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9	0	児童の学校のお迎え時に引き継ぎを必要に応じて電話などの連絡手段を使用し、適切に行っている。	児童の学校のお迎え時に引き継ぎを必要に応じて電話などの連絡手段を使用し、適切に行っていく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	9	0	医療的ケアが必要な児童はいないが連絡体制は整っている。	医療的ケアが必要な児童が利用する際は、活用する。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	9	0	必要に応じた情報共有を行っている。	必要に応じた情報共有を行っていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	9	0	保護者様、移行先、相談支援員の要望があれば情報を共有する体制をとっている。	保護者様、移行先、相談支援員の要望があれば情報を共有する体制をとっていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9	0	必要に応じて行っている。	必要に応じて行っていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	9	機会がない。	機会があれば必要に応じて対応する。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	9	参加していない。	必要に応じて行う。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	0	送迎の家族対応、連絡帳、必要に応じた連絡方法で行っている。	ずれがないようにしていく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	9	0	系列の会社で講座がある。	支援を行えるように職員も講座を受ける必要性がある。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	3	行っている。	理解をしていない職員もいるため理解に努める。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	0	必要に応じて行っている。	保護者様のニーズに答えられるように対応している
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	9	当事業所では行っていない。	必要に応じて開催を検討する。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0	体制は整っており、対応をしている。	今後も引き続き行っていく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	0	個人情報に十分に気をつけながらSNSなどを活用を行っている。	今後も引き続き行っていく。
	35	個人情報に十分注意している	9	0	管理体制を整えている。	今後も引き続き行っていく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0	児童、各ご家庭に合った対応を行っている。	今後も引き続き行っていく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	9	当事業所では行っていない。	必要に応じて検討をする。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9	0	個人情報に十分に気をつけながらSNSなどを活用を行っている。	今後も引き続き行っていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	0	避難訓練等を行っている。	定期的に行っていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	0	研修を実施し、理解に努めて対応している。	今後も引き続き行っていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9	0	研修を実施し、理解に努めて対応している。 記載している。	今後も引き続き行っていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	0	医師の指示を受けた保護者から説明をいただき対応をしている。	今後も引き続き行っていく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	0	作成したものは必ず、共有を行っている。	今後も引き続き行っていく。